

平成 21 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	植物生態学・分子生理学コンソーシアムによる陸上植物の高 CO ₂ 応答の包括的説明	
領域代表者名	寺島 一郎 （東京大学・大学院理学系研究科・教授）	
研究期間	平成 21 年度～ 25 年度	
<p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>CO₂ 濃度の上昇は社会的要請の強い重要な環境問題であり、本研究領域は、地球温暖化に対応する上で重要な基盤研究として必要性が高い。また、本研究領域は、植物の CO₂ 固定に関与する因子の網羅的解析、マーカー因子と表現型との関係の解析及びモデル化により、モデル植物から作物・樹木へと展開する基礎データを提供できる優れたプロジェクトと評価される。研究目的は明確で、高 CO₂ 環境応答と表現型パラメーターに絞られており、新学術領域研究(研究領域提案型)の趣旨に合致している。研究計画は、方向性・見通しを持ってよく練られている。分子生物学から野外の生態研究に至る幅広い階層の研究を統合し、新しい学術領域を開拓すると共に、幅広い視野を持つ若手研究者の育成が期待される。</p>		